



発行 令和7年7月11日

第141号

編集 ときわ阿賀野支部広報委員会

題字 元支部長 小泉豊信氏

印刷 阿部印刷株式会社



「蒲原三十三観音霊場 養廣寺(駒林地区)」
(写真提供 京ヶ瀬小学校 五十嵐 俊一)



支部長からの提言

子どもたちの輝く将来のために

支部長 樋口 憲 哉

「なんで勉強しなきゃいけないの？」初任校の時から、何度となく子どもたちに問われてきました。みなさんも同様だと思います。今まで様々な返答をしてきましたが、今は「将来の選択肢を増やすため」と答えています。子どもたちが成長し、自分の望む職業や生活が現実のものとしてイメージできたとき、それまで身に付けてきた学びが多いほど、将来の選択肢が増え、実現の可能性が広がっていくと考えます。

学校での学びは、単なる知識の習得ではなく、社会を生き抜く能力を身に付けることが求められています。VUCAの時代を生きる上で求められる能力は「変化に対応する柔軟性や適応力」「創造性や問題解決力」「コミュニケーション力」など多岐に渡り、どれも欠かすことができないものです。

私たち教員は、子どもたちに必要な学びを確実に提供する責務があります。とすれば、私たち自身こそ、社会や子どもの変化に柔軟に対応し、新しいス

キルを身に付け、子どもたちが夢中になって取り組む授業を工夫し続けることが不可欠です。

ときわ150周年の取組のなかで、教師を志した原点を振り返る機会を得ることができました。きっと教職に就かれたほとんどの方は、子どもたちの成長に何よりの喜びを感じていると思います。だからこそ、子どもたちの輝く将来のために、一人一人の思いや身に付けてきた技量を互いに伝え合い高め合う教師でありたいと思います。

今年度、阿賀野支部の活動の重点を「志・研修・つながり」としました。会員それぞれが、ときわ会員としての志を再確認し、主体的に研修を進めること、会員同士はもちろん多くのネットワークを活用し研修や交流の場を広げること、そうした活動を進めていきます。

何よりも子どもたちの輝く将来のために、阿賀野支部会員74名全員で、学び合い高め合っていきたいと思います。